

# 環境 みらい

monthly column

2015



発行所

NPO法人環境みらい下関

〒751-0847 下関市古屋町一丁目18番1号

Tel (083)252-7220

Fax(083)252-7222

www.kankyo-mirai.jp

vol. 151

## contents

- 巻頭コラム「みらい館啓発棟の指定管理制度導入！」
- 1月のリサイクル教室のご案内
- 環境部だより
- 菜の花プロジェクト・Let's Study English

## 「みらい館啓発棟の 指定管理者制度導入！」

NPO法人環境みらい下関 賛助会員・理事  
(一財)下関市21世紀協会

事務局長 大迫 芳彦

新年明けましておめでとうございます。新年早々良いニュースをお届けできず、誠に恐縮ですが、みらい館の指定管理者制度の導入により環境みらい下関にとって残念なお知らせをしなければなりません。

2003年法律の改正により、公の施設の管理・運営を株式会社を初めとするその他の団体に包括的に代行させることが出来る制度となり、昨年11月環境みらい館の指定管理者の選定コンペが行われ、当法人は残念ながら落選となりました。

2003年、環境みらい館の啓発棟を公設民営で管理・運営を行うことを目的としてNPO法人環境みらい下関を設立し、これまで多くの市民や企業・団体、学識経験者等が熱心に議論を重ね、下関の循環型社会形成のためボランティアを中心に幅広く活動を展開し、正会員257名、賛助会員34社、常勤職員8名の規模となりました。



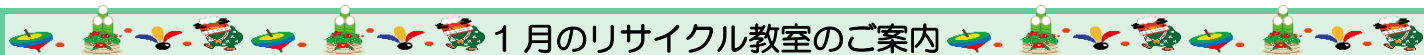
現在、指定管理者制を多くの行政が採用しておりますが、建物管理やゴミ処理はどこでも出来ますが、当法人の規模で多くのボランティアが集まり環境問題に取り組んでいる法人は多く無いと自負しております。

循環型社会の形成は高いミッションが必要で、世界的にも地球温暖化防止は待ったなしとなっています。今回指定管理者から外れたことは、当法人に取り死活問題で、多くの会員・賛助会員・職員の方には、大変ご迷惑をおかけしますが、下関から循環型社会を目指す団体を消滅させることはできません。



この活動が継続できますよう、現在原点に戻り今後の対応を検討しておりますので、市民の皆様、会員の皆様・賛助会員の皆様引き続きこれまでと同様ご支援ご鞭撻賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

(2015.12.15)



| 曜日 | 日時                | 講座名<br>講師名          | 講座内容  |
|----|-------------------|---------------------|---|
| 火  | 19日<br>10～14時     | 組みひも<br>津森 美智子      | 古布及び毛糸などを利用して、帯締めや各種ヒモ類を作ります。<br>持参する物:材料代 400円・裂き布・毛糸など・昼食<br>定員:10名   |
|    | 19日<br>10～14時     | 廃食用油で石鹸づくり<br>福井 和恵 | 環境にやさしい手作り石けんを作ります。<br>持参する物:材料代 150円・エプロン<br>定員:20名  |
|    | 19日・26日<br>13～15時 | 和服のリサイクル<br>芳川 妙子   | 古着物や古帯を利用して、オリジナル作品を作ってみませんか。<br>持参する物:材料代 400円・ゆかた・着物・帯・裁縫道具<br>定員:15名   |
|    | 19日・26日<br>10～12時 | 着付け<br>末永 由紀子       | 「着る」を貴方の目的やペースに応じてご指導致します。<br>持参する物:材料代 400円・着物・帯・その他小物・定員:10名  |
| 水  | 6日・20日<br>10～12時  | 布あそび<br>森田 芙路恵      | 古和洋服を利用して貴方の生活に役立つものを作ります。<br>持参する物:材料代 400円・不用の布・裁縫道具 定員:20名   |
|    | 20日<br>13～16時     | 古布でぞうり作り<br>佐藤 緑    | 持参する物:材料代 400円・30cmものさし・はさみ・洗濯バサミ 2個<br>綿で縦布(幅 10cm、長さ 60cm)34本 (幅 9cm、長さ 80cm)1本<br>(幅 2cm、長さ 35cm)4本 (幅 6cm、長さ 45cm)1本<br>定員:16名 22日と2日間できる方限定。 |
| 木  | 7日・21日<br>10～14時  | 古布で小物<br>永岡 ハツエ     | 古布で「季節の小物」を作ります。<br>持参する物:材料代 400円(材料代別)・裁縫道具・手芸用ボンド・軽食 定員:25名(2日間参加できる方限定)   |
|    | 14日・28日<br>10～12時 | パッチワーク<br>小笠原 典子    | ミニタペストリー・バッグ・小物などを作ります。<br>持参する物:材料代 400円・裁縫道具・材料のハギレ<br>定員:25名   |
|    | 14日・28日<br>13～15時 | 毛糸で小物<br>内田 チズ子     | 最初はアクリル毛糸でタワシを作ります。<br>持参する物:材料代 400円・アクリル毛糸・カギ針 6～7号<br>定員:20名   |
|    | 14日・28日<br>13～16時 | 表具<br>森 宏司          | 掛け軸や色紙掛けを作ります。<br>持参する物:材料代 400円(材料代別)<br>定員:5名(2日間参加できる方限定)  |
| 金  | 8日<br>10～14時      | 組みひも<br>津森 美智子      | 古布及び毛糸などを利用して、帯締めや各種ヒモ類を作ります。<br>持参する物:材料代 400円・裂き布・毛糸など・昼食<br>定員:10名   |
|    | 15日・29日<br>10～12時 | 裂き織り<br>小笠原 典子      | 木綿や絹の古着を裂いて、バッグ・インテリアグッズを作ります。<br>持参する物:材料代 600円・木綿や絹の古着・ハサミ<br>定員:9名 ※織機持参者可※材料代は同じです  |
|    | 22日<br>10～14時     | エコクッキング<br>家根内 清美   | 持参する物:材料代 600円・エプロン・三角巾・筆記用具<br>定員:20名 場所:山口合同ガス ひまわり館<br>下関市本町三丁目 1-1<br>締切り:1月15日(金)  |
|    | 22日<br>13～16時     | 古布でぞうり作り<br>佐藤 緑    | 20日の続きから編みます。<br>2日間参加できる方限定。   |
| 土  | 9日・23日<br>10～12時  | 布のリフォーム<br>高田 和代    | 古い着物や衣類を蘇らせ、自分だけの一着を作ります。<br>持参する物:材料代 400円・裁縫道具・解いた服や着物<br>定員:15名  |
| 日  | 10日・24日<br>10～12時 | ガラス工芸<br>木下 照親      | ガラスに砂を吹き付け削り、オリジナル絵柄作品を作ります。<br>持参する物:材料代:1回 400円・ガラス製のコップ・鉛筆<br>定員:10名   |

◎教室の申込み方法◎

1月5日(火)午前10時～電話受付を開始します

<申込みが少数の場合及び、講師の都合等により中止や延期になる場合がありますので、ご了承ください>



## 新 170t 焼却炉 を建設しています！

平成28年3月18日の完成を目指して下関市の新しいごみ焼却炉を建設しています。これは、昭和62年から稼働し28年が経過し著しく老朽化した220t焼却炉に代わる新たな焼却炉として建設するものです。



図1 完成図（網掛け部分は既存施設）

新しい焼却炉は、全連続燃焼式ストーカ炉で170t/日の焼却能力を有し、定格3,600kWの蒸気タービン発電機及び高温水供給設備を備えており、ごみ焼却の際に発生する熱エネルギーを余すことなく有効活用することができます。

また、ごみを焼却した後の灰（主灰及び飛灰）はすべてセメント原料化されるため、循環型社会の形成推進に大きく貢献できます

さらに、これまで2つの焼却施設であったものが1つに集約されるため、ごみ収集車の動線も簡素化され、維持管理性の向上が期待されます。

見学者施設として、実物大のごみクレーンの壁画や、3次元コンピュータグラフィックスにより焼却炉の仕組みや各設備について分かり易く説明するディスプレイ、焼却炉の内部を再現した展示スペース、ストーカ火格子と耐火レンガの実物展示、ごみ発電量のリアルタイムモニターなど盛りだくさんの展示物を用意してみなさんのお越しをお待ちしています。是非工場見学にお越しください。

新170t炉の完成により、今後も引き続き安全・安定したごみ処理を行い、快適で清潔な市民の皆様の生活環境を維持してまいります。

### ○ 奥山工場施設概要

- ・処理方式：全連続燃焼式ストーカ炉
- ・処理能力：170t/日×1炉（新設）  
180t/日×1炉（既設）
- ・発電設備：3,600kW（新設）  
3,180kW（既設）
- ・敷地面積：約55,200m<sup>2</sup>

# 菜の花プロジェクト 第3弾



下関市内小学校5校（江浦・神田・西山・長府・名池）に菜の花畑を作り始めました。生徒の皆さんにも手伝ってもらっています。



▲下関市立江浦小学校 11月18日



▲下関市立神田小学校 11月20日



名池小学校の学習発表会では、5年生が菜の花プロジェクトについて発表しました。とても素晴らしい発表でした。



▲下関市立西山小学校 11月17日



▲下関市立長府小学校 11月20日



▲下関市立名池小学校 11月18日



## Let's Study English



「環境」の会話の中に、時々英語を耳にしますが、疑問に思われたことはありませんか。少しずつご紹介したいと思います。  
**今回は前回の PPP (polluter-pays principle) 汚染者負担原則のつづきです。** 環境汚染を引き起こす汚染物質の排出源である汚染者に発生した損害の費用をすべて支払わせることを意味しています。Polluter は前回説明しましたが、汚染者の意味でしたね。

Payは動詞で物やサービスに対してお金を支払うという意味があります。

例：Can I pay by credit card?

(クレジットカードで支払えますか)

I paid him 1000 yen to cut the grass.

(彼に草刈りのために1000円払った。)

また給料や賃金を払うという意味もあります。

例：How much do they pay you?(あなたにいくら払ってるの)

They pay me only about 700yen an hour.

(一時間にたった700円くらいです。)

注意や代償を払うときにも pay が使われます。

例：They paid no attention to him.

(彼らは彼に注意を払わなかった。)

He is now paying the price for his early mistakes.

(彼は以前の過ちの代償を今払っています。)

Pay は名詞で支払われるお金を意味することもあります。

例：The idea of equal pay for women is a recent phenomenon.

(女性同一賃金の考えは近年の現象です。)

Principle は原理、原則、主義と言う意味です。

PPP の考えは以前3月号で取り上げた、EPR(extended Producer Responsibility) 拡大生産者責任へと広がりました。製品に対する生産者の物理的及び経済的責任が製品ライフサイクルの使用後の段階にまで拡大される環境政策上の手法です。



## しものせき環境みらい館

### 【ご利用案内】

開館時間 10:00-17:00

休館日 月曜日 (祝日の場合は開館し翌日休館)

(年末年始休館日 H27年12月28日~H28年1月4日)

交通案内 バス下関方面「稗田中央」より徒歩3分 川棚方面「垢田」より徒歩5分

〒751-0847 下関市古屋町一丁目18番1号

TEL083-252-7220 FAX083-252-7222

URL: <http://www.kankyo-mirai.jp> Mail: [eco@kankyo-mirai.jp](mailto:eco@kankyo-mirai.jp)

